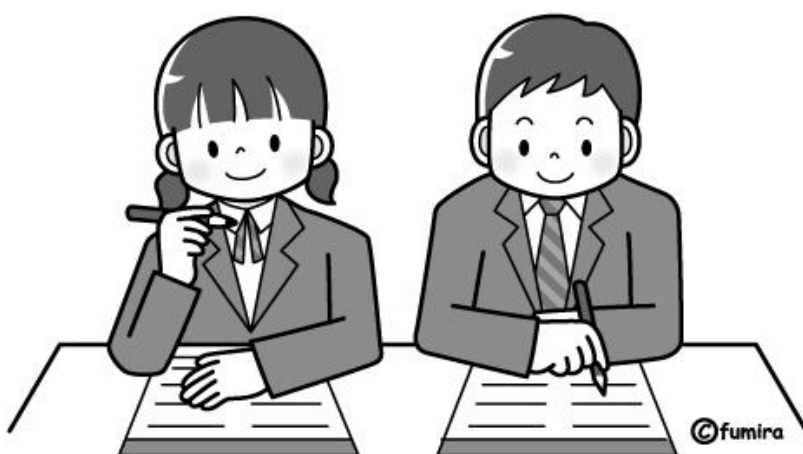


狭山市立狭山台中学校  
令和8年度 第1学年

# シラバス

## 〈学習案内〉



☆このシラバスには、各教科の学習内容・学習ポイント・評価方法が書かれています。

## 【国語科 シラバスについて】

令和7年度 狭山市立狭山台中学校 第1学年 国語科 授業計画

### 1) 教科の目標

- ・ 日常生活で活用できる言語能力を身につけよう。
- ・ 文字を正しく丁寧に書く習慣を身につけよう。

### 2) 評価の観点

#### 「知識・技能」

学習の過程を通じた知識及び技能の習得状況について評価を行うとともに、それらを既有的の知識及び技能と関連付けたり活用したりする中で、他の学習や生活の場面でも活用できる程度に概念等を理解したり、技能を習得したりしているかについても評価する。

#### 「思考・判断・表現」

知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかを評価する。

#### 「主体的に学習に取り組む態度」

知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取組を行おうとしている側面と、その粘り強い取組を行う中で、自らの学習を調整しようとする側面を総合的に評価する。

### 3) 評価の方法

#### (1) 「知識・技能」について

##### ○ 「言語事項」の学習活動

- ・ 定期テストの「語句・言語に関する問題」 ・ 漢字テスト
- ・ 硬筆 ・ 書き初め

#### (2) 「思考・判断・表現」について

##### ○ 「話すこと・聞くこと」の学習活動

- ・ スピーチ ・ 聞く態度 ・ 聞き取りテスト ・ 発言、発表の仕方

##### ○ 「書くこと」の学習活動

- ・ 課題作文 ・ 授業プリント ・ 読書感想文

##### ○ 「読むこと」の学習活動

- ・ 定期テストの「読解問題」 ・ 授業プリント ・ 小テスト ・ 発表の内容

#### (3) 「主体的に学習に取り組む態度」について

##### ○ 主に授業中の態度や、日常的な学習・提出物で評価します。

- ・ 発言 ・ 提出物（授業ノートや漢字スキルワーク・別冊テストなど）の内容
- ・ 古文の音読テスト ・ 古文の暗唱テスト（定期テストも含む）

4) 各学期の学習内容と学習のポイント

	月	単 元	学 習 内 容
1 学 期	4	言葉に出会うために 言葉に出会うために 野原はうたう 声を届ける 書き留める 言葉を調べる 続けてみよう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国語を学ぶ意味や言葉の価値を考える。</li> <li>・情景や心情を想像しながら音読する。</li> <li>・音読・発表のしかたを理解する。</li> <li>・ノートの書き方、工夫のしかたを理解する。</li> <li>・辞典・事典で言葉を調べる方法を理科する。</li> <li>・「言葉の手帳」を作る。</li> </ul>
	5	1、学びをひらく シンジュン  情報を整理して書こう 漢字①漢字の組み立てと部首	<ul style="list-style-type: none"> <li>・場面の展開に着目することで、何が捉えられたか、自分の言葉でまとめる。</li> <li>・わかりやすく伝えるために、構成を工夫する。</li> <li>・漢和辞典を利用して、練習問題に取り組む。</li> </ul>
	6	2、新しい視点で ダイコンは大きな根？  ちょっと立ち止まって 好きなことをスピーチで紹介する 文法への扉① 情報を集めよう、読み取ろう、引用しよう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文章と図の関連や段落と段落の関係に注意して文章の構成を捉える。</li> <li>・要旨の捉え方についてわかったことを、自分の言葉でまとめる。</li> <li>・聞き手が知りたい情報を考えて、聞き手にわかるようにスピーチする。</li> <li>・言葉の類別について理解し文章の内容や構成を捉える。</li> <li>・言葉がもつ価値に気づき、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合う。</li> </ul>
	7	3、言葉に立ち止まる 詩の世界 〔書く〕詩を作ろう 比喩で広がる言葉の世界 言葉①指示する語句と接続する語句  本の中の中学生 読書案内 本の世界を広げよう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・三編の詩の表現を参考にして、詩を作る。</li> <li>・比喩について理解し、言葉について考えを深めたことをまとめる。</li> <li>・指示する語句と接続する語句の役割について理解する。</li> <li>・表現の特徴をとらえて読み、描かれた情景を想像する。</li> <li>・本からの情報を集めるための方法を身につけ、目的に応じて必要な情報を読み取る。</li> </ul>
2 学 期	9	4、心の動き 大人になれなかった弟たちに……  星の花が降るころに  項目を立てて書こう 案内文を書く	<ul style="list-style-type: none"> <li>・描写に着目することで、どんなことが読み取れたか、自分の言葉でまとめる。</li> <li>・複数の場面や描写を結び付けて読み、見えてきたことを自分の言葉でまとめる。</li> <li>・作成した案内文について、友達と改善点を助言し合う。</li> </ul>
	10	言葉② 方言と共通語 漢字② 漢字の音訓  5、筋道を立てて 「言葉」をもつ鳥、シジュウカラ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・共通語と方言の果たす役割について理解する。</li> <li>・「音」と「訓」の歴史や性質を理解する。</li> <li>・筆者の論の展開の特徴を、「事実と意見」という言葉を使って書く。</li> </ul>
	11	話題や展開を捉えて話し合おう グループディスカッションをする  6、いにしへの心にふれる 音読を楽しもう いろは歌 古典の世界 蓬萊の玉の枝 「竹取物語」から 今に生きる言葉 〔書く〕故事成語を使って体験文を書こう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結び付けてまとめる。</li> <li>・3年間の古典学習についても通しをもつ。</li> <li>・現代の文章とkg古典を比べ、どんな違いに気がついたか挙げる。</li> <li>・挙げられている故事成語は、日常生活の中でどのように使われているか考える。</li> </ul>
	12	7、価値を見いだす 「不便」の価値を見つめ直す 〔書く〕根拠を明確にして、意見をまとめよう 文法への扉②言葉の関係を考えよう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要な情報に着目して要約し、自分の考えを文章にまとめる。</li> <li>・単語の類別について理解する。</li> </ul>
3 学 期	1	8、自分を見つめる 少年の日の思い出 〔書く〕別の人物の視点から文章を書き換えよう 文法への扉③ 単語の性質を見つけよう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「僕」の考え方や感じ方について、共感することや疑問に思うところを話し合う</li> <li>・「単語の分類」「品詞」「体言と用言」について、理解を深める。</li> <li>・体験や思いを伝えるために、言葉を吟味して選び、随筆を書く。</li> </ul>
	2	構成や描写を工夫して書こう 体験を基に随筆を書く 言葉③ さまざまな表現技法 漢字③ 漢字の成り立ち	<ul style="list-style-type: none"> <li>・比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解して使用する。</li> <li>・漢和辞典を利用して漢字の成り立ちを調べ、分類する。</li> </ul>
	3	一年間の学びを振り返ろう 要点をフリップにまとめ、発表する 学習を振り返ろう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観点を決めて、一年間の学習を振り返る。</li> <li>・一年間で学習してきたことに関する学習課題に取り組み、さらに理解を深める。</li> </ul>

【数学科 シラバスについて】

令和8年度 狭山市立狭山台中学校 第1学年 数学科 授業計画

1) 教科の目標

1	数を正負まで拡張し理解を深めよう。また文字を用いることの意義及び方程式の意味を理解するとともに、数量の関係・法則を一般的かつ簡潔に表現・処理できるようにしよう。
2	平面・空間図形について観察・操作などを通して、直感的な見方や考え方を深めよう。
3	具体的な事象から、比例・反比例の見方・考え方を深め、数量の関係を表現し考えよう。

2) 評価の観点

①知識 技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別の知識及び技能の習得状況について評価する。</li> <li>・それらを既有的知識及び技能と関連付けたり活用したりする中で、概念等として理解したり、技能を習得したりしているかについて評価する。</li> </ul>
②思考判断表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・数学の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身に付けているかどうかを評価する。</li> </ul>
③主体的に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取組の中で、自らの学習を調整しようとしているかどうかを含めて評価する。</li> </ul>

3) 評価の方法

授業や課題への取り組みの態度、定期テスト、提出物、レポート、ワーク、プリント、宿題、発言 等
--

4) 各学期の学習内容と学習のポイント

	月	単元	学習内容
1 学 期	4月	1章 正の数・負の数	○負の数の意味を理解し、正の数・負の数の必要性和有用性を知るようにします。
		1節 正の数・負の数	
	5月	2節 正の数・負の数の計算	○正の数・負の数の四則について理解し、それらの計算ができるようにします。
3節 正の数・負の数の利用			

	6月 7月	2章 文字の式 1節 文字を使った式 2節 文字式の計算	<ul style="list-style-type: none"> <li>○文字を用いることの意義を理解できるようにします。</li> <li>○文字を用いた式の乗法・除法の表し方を理解できるようにします。</li> <li>○一次式の計算ができるようにします。</li> </ul>
2 学 期	9月 10月	3章 方程式 1節 方程式 2節 方程式の利用	<ul style="list-style-type: none"> <li>○方程式及びその中の文字や解の意味を理解できるようにします。</li> <li>○等式の性質を見だし、方程式がそれに基づいて解けることを知ることができるようにします。</li> <li>○一元一次方程式を解くことができ、それを利用することができるようにします。</li> </ul>
	10月	4章 変化と対応 1節 関数 2節 比例 3節 反比例 4節 比例、反比例の利用	<ul style="list-style-type: none"> <li>○比例・反比例の意味を理解できるようにします。</li> <li>○比例・反比例を表・式・グラフで表し、それらの特徴を理解できるようにします。</li> <li>○比例・反比例の見方や考え方を活用できるようにします。</li> </ul>
	11月 12月	5章 平面図形 1節 直線図形と移動 2節 基本の作図 3節 円とおうぎ形	<ul style="list-style-type: none"> <li>○図形の移動の意味を理解できるようにします。</li> <li>○平面図形についての直感的な見方・考え方を深められるようにします。</li> <li>○基本的な作図の方法を理解し、それを利用することができるようにします。</li> </ul>
3 学 期	1月 2月	6章 空間図形 1節 立体と空間図形 2節 立体の表面積と体積	<ul style="list-style-type: none"> <li>○空間における直線と平面の位置関係を知ることができるようにします。</li> <li>○扇形の弧の長さ・面積及び基本的な柱体・錐体・球の表面積・体積を求めることができますようにします。</li> </ul>
	3月	7章 資料の活用 1節 ヒストグラムと相対度数 2節 データにもとづく確率	<ul style="list-style-type: none"> <li>○資料を散らばりや代表値を用いて整理できるようにします</li> <li>多数の観察や多数回の試行によって得られる確率の必要性と意味を理解できるようにします</li> <li>多数回の試行の結果から、相対度数を計算し確率を求めることができるようにします</li> </ul>
		復習	○1年間の学習の総まとめをします。



1) 教科の目標

<ul style="list-style-type: none"> <li>・地理や歴史に興味を持って、積極的に調べ、考えられる生徒の育成。</li> <li>・社会事象に関する基礎的教養を身につける。</li> </ul>
---

2) 評価の観点

・社会的事象への理解と資料活用の技能	我が国の国土と歴史，現代の政治，経済，国際関係等に関して理解しているとともに，調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめている。
・社会的な思考・判断・表現	社会的事象の意味や意義，特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり，社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したり，思考・判断したことを説明したり，それらを基に議論したりしている。
・社会的事象を主体的に学ぼうとする態度	社会的事象について，国家及び社会の担い手として，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとしている。

3) 評価の方法

<p><b>【知識・技能】</b>  <input type="checkbox"/>定期テスト <input type="checkbox"/>小テスト <input type="checkbox"/>作業学習（調査・分析）など  <input type="checkbox"/>レポートの内容など</p> <p><b>【思考・判断・表現】</b>  <input type="checkbox"/>定期テスト  <input type="checkbox"/>レポートの内容など</p> <p><b>【主体的に学ぼうとする態度】</b>  <input type="checkbox"/>定期テスト <input type="checkbox"/>ノートの内容 <input type="checkbox"/>社会科の学習に取り組む態度  <input type="checkbox"/>振り返りシートの記入内容など                  ＊ 3つの観点をこれらの方法等で評価し、それぞれA・B・Cの判定をします。</p>
---

4) 各学期の学習内容

	月	単元	学習内容
1 学 期	4	<b>【地理的分野】</b> ・世界のすがた  ・日本のすがた	<ul style="list-style-type: none"> <li>・六大陸と三大洋・地球儀と地図</li> <li>・国々の名称と位置・大まかな世界地図</li> <li>・国土の位置</li> <li>・緯度と経度</li> <li>・国土や領域の特色</li> <li>・都道府県と都道府県庁所在地</li> <li>・おおまかな日本地図を描く</li> <li>・世界における日本の位置</li> <li>・時差</li> </ul>
	5		
	6	・世界各地の人々の生活と環境  <b>【歴史的分野】</b> ・古代までの日本	
	7		
2 学 期	9	<b>【地理的分野】</b> ・世界の諸地域	<ul style="list-style-type: none"> <li>・聖徳太子の政治</li> <li>・律令国家の成立</li> <li>・奈良時代のくらしと政治、天平文化</li> <li>・平安時代の政治と国風文化</li> </ul>
	10		
	11		
	12		
3 学 期	1	<b>【歴史的分野】</b> 中世の日本	<ul style="list-style-type: none"> <li>・武士の成長と武家政権の成立</li> <li>・鎌倉時代の民衆のくらしと鎌倉文化</li> <li>・東アジアの変動と元寇、南北朝の動乱</li> <li>・室町幕府と経済発展</li> <li>・室町時代の民衆の成長と戦国大名</li> <li>・室町文化</li> </ul>
	2		
	3		

## 【理科 シラバスについて】

令和8年度 狭山市立狭山台中学校 第1学年 理科 授業計画

### 1) 教科の目標

◎自然の事物・現象に進んで関わり、目的意識を持って観察・実験などを行い、科学的に探究する能力の基礎と態度を育てるとともに自然の事物・現象についての理解を深め、科学的な見方や考え方を養う。

### 2) 評価の観点

(知識・技能) 自然の事物・現象についての概念・原理・法則を理解し、科学的に探究するために必要な観察・実験の基本的な操作・記録ができる。また、実験・観察の基本的な技術を身に付けている。  
(思考・判断・表現) 自然の事物・現象から問題を見出し、見通しをもって実験・観察を行い、得られた結果から解釈・表現するなど、科学的に探究している。  
(主体的に取り組む態度) 自然の事物・現象に進んで関わり、見通しを持ったり、振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

### 3) 評価の方法

知識及び技能	定期テスト、パフォーマンステストなど
思考、判断、表現	定期テスト、実験レポートの考察、課題レポートなど
主体的に学習に取り組む態度	授業態度、課題プリント、振り返りカード、実験レポートなど

### 4) 各学期の学習内容と学習のポイント

	月	単 元	学習内容
1 学 期	4	いろいろな生物とその共通点 1. 花のつくりとはたらき 2. 葉と根のつくり	・校庭や学校周辺の生物の観察を行う。スケッチの仕方、顕微鏡の使い方を理解する。 ・花のつくりとはたらき、葉と根のつくりを調べる。
	5	3. 植物の分類 4. 動物の分類	・花の咲かない植物の特徴を調べる。 ・花や葉、茎、根の観察記録に基づいて、植物を分類する。
	6		・いろいろな動物の体のつくりや特徴を調べ分類する。
	7	身のまわりの物質 1. 身のまわりの物質とその性質	・物質の性質の調べ方を身につけ、物質固有の性質を見いだす。

2 学 期	9	2. 気体の性質 3. 水溶液の性質 4. 物質の姿と状態変化	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ガスバーナー各部名称とはたらきを知る。</li> <li>• 物質の密度の測定方法・計算方法を知る。</li> <li>• 状態変化における体積と質量変化、沸点融点、蒸留を理解する。</li> <li>• 身近な気体を発生させその性質を知る。</li> <li>• 溶解、濃度、溶解度、再結晶、ろかについて知る。</li> </ul>
	10		<ul style="list-style-type: none"> <li>• 身近な気体を発生させその性質を知る。</li> <li>• 溶解、濃度、溶解度、再結晶、ろかについて知る。</li> </ul>
	11 12	<b>身のまわりの現象</b> 1. 光の世界 2. 音の世界 3. 力の世界	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 光の性質（反射・屈折）について実験をとおして理解する</li> <li>• 凸レンズによってできる像を調べ、作図できるようになる。</li> <li>• 音の発生の仕方、伝わり方、音の大小・高低と振動数・振幅との関係を実験をとおして理解する。</li> <li>• フックの法則の実験から、グラフの書き方を理解する。</li> </ul>
3 学 期	1 2 3	<b>大地の変化</b> 1. 火をふく大地 2. 動き続ける大地 3. 地層から読みとる大地の変化	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 火山噴出物、火山のできかたを知る。</li> <li>• マグマからできた物質（火山岩）の特徴を知る。</li> <li>• 地震の揺れはどのように伝わるのかを知る。</li> <li>• プレートの運動と地震発生のメカニズムを知る。</li> <li>• 大地の隆起沈降について理解する。</li> <li>• 地層がどのようにしてできるのかを知る。</li> <li>• 堆積岩・化石の特徴を調べる。</li> </ul>

1) 教科の目標

- ①英語を使って自らコミュニケーションを図ろうとする態度を育成する。
- ②4領域（聴く・話す・読む・書く）の調和を心がけ、基礎学力が定着する授業を工夫する。
- ③英語圏をはじめとする異文化に触れ、グローバルな見方や国際人としての自覚を育てる。

2) 評価の観点

**1 知識・技能**  
 実際のコミュニケーションにおいて、日常的话题や社会的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて話したり書いたりして表現したり伝えあったりする技能を身に付けている状況の評価する。また日常的话题や社会的な話題について話されたり書かれたりする文章等を聞いたり読んだりして、その内容を捉える技能を身に付けている状況の評価する。

**2 思考・判断・表現**  
 コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的话题や社会的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて、話したり書いたりして表現したり伝えあったりしている状況の評価する。日常的话题や社会的な話題について話されたり書かれたりする文章等を聞いたり読んだりして、コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、必要な情報や概要、要点などを捉えている状況の評価する。

**3 主体的に学習に取り組む態度**  
 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている状況の評価する。

※以上の観点について、聞くこと・読むこと・話すこと[やり取り]・話すこと[発表]・書くことについて評価する。

3) 評価の方法

- 1 小テスト・定期テスト
- 2 発表（スピーキングテスト）・音読（リーディングテスト）・英作文・小テスト・定期テスト
- 3 授業態度、ノート、ワークブック、ワークシート、その他提出物

4) 各学期の学習内容と学習のポイント

	月	単元	学習内容
1 学 期	4月	学習の仕方 Get Ready Program 1 友達を作ろう Step1 発表上手になろう	・予習・復習の仕方やノートのまとめ方について学習する。 ・小学校の復習（アルファベット） ・自己紹介や相手との問答をする。（be 動詞） ・あいさつができる。
	5月	Program 2 1-Bの生徒たち	・一般動詞・疑問詞の使い方を学ぶ ・命令文
	6月	Program 3 タレントショーを開こう Step2 考えを整理し発表しよう	・can/can't+一般動詞の意味と使い方を学習する。 ・
	7月	Our Project 1 あなたの知らない私 Power-Up1	・自己紹介 ・飲食店での注文

2 学 期	9月	Program 4 Let's Enjoy Japanese Food	<ul style="list-style-type: none"> <li>・代名詞の使い方を学ぶ (This is / That is)</li> <li>・疑問詞の使い方を学ぶ (who)</li> <li>・一般動詞の三単現について学ぶ。</li> <li>・三人称単数現在の時の動詞の変化について学ぶ</li> <li>・ whose / which を使った文を学ぶ</li> <li>・代名詞の目的格を学ぶ</li> <li>・疑問詞について学び (why)、理由を答える練習をする</li> <li>・「～がある (いる)」 (There is~/ There are)について学ぶ。</li> <li>・疑問詞 (how) について学ぶ。</li> <li>・疑問詞のまとめをする。</li> <li>・2学期に学習した事柄を用いて、人を紹介するスピーチを行う。</li> <li>・インタビューを聞き取る。</li> </ul>
	10月	Program 5 Pajama Day Power-Up 2 Program 6 The way to school	
	11月	Step2 話の組み立て方 Program 7 Research on Australia 疑問詞のまとめ Power-Up 3	
	12月	Step4 Our Project 2 この人を知っていますか	
3 学 期	1月	Program 8 Happy New Year Power-Up 4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在進行形について学ぶ</li> <li>・絵や写真の説明の仕方を学ぶ。</li> <li>・過去形について学ぶ。(規則動詞 不規則動詞)</li> <li>・be 動詞の過去形について学ぶ。</li> <li>・発表する写真について、自分が選んだ理由を説明する。</li> <li>・聞き手に伝わるスピーチの工夫をしながら発表する。</li> <li>・はがきの書き方を学ぶ</li> </ul>
	2月	Program 9 A Trip to Finland Power-Up 5	
	3月	Program 10 Grandma Baba's Warming Ideas! Step6 Our Project 3 私が選んだ1枚 Power-Up 6	

## 【技術科 シラバスについて】

令和8年度 狭山市立狭山台中学校 第1学年 技術科 授業計画

### 1) 教科の目標

- ・生活に必要な基礎的な知識と技術（スキル）の習得を通して、生活と技術とのかかわりについて理解を深め、進んで生活を工夫し創造する力を身につける。
- ・実習を通して、実践的・体験的に「ものづくりやエネルギーの利用」および「コンピュータの活用」等に関する基礎的な知識と技術を習得する。
- ・技術が果たす役割について理解を深め、それらを適切に評価し活用する力を養う。

### 2) 評価の観点

#### 1. 知識・技能

\*習ったことに関する理解力・身につき方

- ①定期テストによって、知識・理解度を評価する。
- ②プリント内容等に習ったことが記入されている。

\*道具の使い方、コンピュータの使用方法および機能の使い方

- ①コンピュータを適切に扱う。
- ②道具を安全に使い、正しく使うこと。

#### 2. 思考・判断・表現

\*作品に対して工夫したり、努力したりする様子が見られたか

- ①作品の仕上がりに工夫し、解決しようとしている。
- ②製作への努力をして、周囲に伝えることができる。

#### 3. 主体的に学習に取り組む態度

\*授業に対する取り組み方

- ①忘れ物をしない。
- ②発言の機会があったら積極的にする。
- ③授業中は私語をしないで、集中して取り組む。実習（作業）は意欲的に取り組む

### 3) 評価の方法

- (1) 1～3のそれぞれの観点について、A, B, Cをつけ、その観点をもとにして技術科の5段階の評定を出します。
- (2) 学年評定は家庭科の評定と合わせて、「技術・家庭科」の評定を出します。

4) 各学期の学習内容と学習のポイント

	月	単元	学習内容
1 学 期	4月	【ガイダンス】 ・技術分野の学習内容や学習の進め方についての見通し	・技術分野で学ぶこと ・技術を見つけよう ・技術とわたしたちの生活 ・学習の見通しをもとう
	5月	【B生物育成】 ・生物育成の技術についての基礎的・基本的な知識・技能	・生物の育成、実習
	6月	【D情報】 ・情報についての基礎的・基本的な知識・技能	・情報とわたしたちの生活 ・情報通信ネットワークの利用
	7月	【A材料と加工】 ・材料と加工の技術についての基礎的・基本的な知識・技能	・情報通信ネットワークと情報セキュリティ  ・ものづくりの視点と進め方 ・材料 ・設計
2 学 期	9月	・材料と加工の技術による問題解決	・木材による製作 ・実習
	10月	・社会の発展と材料と加工の技術	・材料と加工に関する技術の評価・活用

\*技術と家庭科は前期後期で入れ替わります。  
切り替えの時期は10月下旬頃を予定しています。

## 【家庭科 シラバスについて】

令和8年度 狭山市立狭山台中学校 第1学年 家庭科 授業計画

### 1) 教科の目標

#### <家族・家庭生活>

○家族や地域の人々と協力・協働し、よりよい家庭生活に向けて考え、工夫する活動を通して、家族・家庭の基本的な機能について理解する。

○家族・家庭生活に関する知識及び技能を身に付け、これからの生活を展望して、家族・家庭や地域における生活の課題を解決する力を養い、家庭生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を育成する。

#### <食生活>

○健康・安全で豊かな食生活に向けて考え、工夫する活動を通して、中学生に必要な栄養の特徴や健康によい食習慣、栄養素や食品の栄養的特質、食品の種類と概量、献立作成、食品の選択と調理などに関する知識及び技能を身に付ける。

○これからの生活を展望して、食生活の課題を解決する力を養い、食生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を育成することをねらいとしようとする。

### 2) 評価の観点

①知識・技能	家族・家庭の基本的な機能について理解を深め、生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、それらに係る技能を身につけている。
②思考・判断・表現	これからの生活を展望し、家族・家庭や地域における生活の中から問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につけている。
③主体的に学習に取り組む態度	家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。

### 3) 評価の方法

定期テスト、振り返りシート、プリント、レポート 等

※学年評定は技術科の評定と合わせて、「技術・家庭科」の評定を出します。

4) 各学期の学習内容と学習のポイント

	月	単元	学習内容
2 学 期	10月	家庭分野ガイダンス  【A 家族・家庭生活】 1 今の自分とこれから 2 家庭のはたらきと家庭の仕事	・家庭分野の学習内容や学習の進め方について  ・これまでとこれからの自分 ・家庭の仕事
	11月	3 様々な家族・家庭  【B 衣食住の生活（食生活）】 1 人間にとっての食事  2 食品と栄養素をつなぐ	・多様な家族 ・多様な家族関係  ・食事の役割 ・毎日の食習慣と健康の基本 ・食事の役割と調理 ・食品と栄養素をつなぐ ・栄養素のはたらき
3 学 期	12月	3 中学生に必要な食事	・中学生の発達と必要な栄養 ・目で見て判断～栄養バランス～
	1月	4 日常食の調理と地域の食文化	・食品と調理 ・生鮮食品の選択と保存 ・肉の特徴と調理 ・魚の特徴と調理 ・野菜の特徴と調理 ・加工食品の選択と保存 ・受け継がれた食文化
	2月		
	3月	5 献立づくり 6 持続可能な食生活	・1日分の献立 ・持続可能な食生活を目指して

※技術と家庭科は前期後期で入れ替わります。

切り替えの時期は10月下旬頃を予定しています。

## 【音楽科 シラバス】

令和8年度 狭山市立狭山台中学校 第1学年 音楽科 授業計画

### 1) 教科の目標

(1)知識及び技能	曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。
(2)思考力、判断力、表現力等	音楽表現を創意工夫することや、音楽のよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。
(3)学びに向かう力、人間性等	音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情を育むとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽に親しんでいく態度を養い、豊かな情操を培う。

### 2) 評価の観点

①知識・技能	<ul style="list-style-type: none"><li>・曲想と音楽の構造などとの関わり及び音楽の多様性について理解しているかを評価する。</li><li>・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表しているかを評価する。</li></ul>
②思考・判断・表現	音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて思いや意図をもったり、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしているかどうかを評価する。
③主体的に学習に取り組む態度	音や音楽、音楽文化に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしているかを評価する。

### 3) 評価の方法

<ul style="list-style-type: none"><li>・学習状況の達成度をふまえ、上記①～③の観点をA・B・Cで評価し、それらをもとに5段階の評定を出します。</li><li>・評価の材料は下記のとおりです。 定期テスト（1・3学期末）、実技発表及び実技テスト、小テスト、ワークシート、学習活動の様子、発言発表・ワーク・レポート等の内容 等</li></ul>
---

#### 4) 各学期の学習内容と学習のポイント

	月	題材	学習内容
1 学期	4月	○ガイダンス	・授業の受け方、年間の学習計画、評価について知る。
	5月	○豊かな響きの発声を身に付けよう ・校歌、 My Voice! ・いろいろな発声練習	・仲間と音楽を通してコミュニケーションを図る。 ・発声の原理を知り、豊かな響きをもった発声を身に付ける。 ・狭山台中学校の一員として、思いをこめて校歌を歌う。 ・美しいハーモニーを感じて歌う力を養う。
		○音楽の特徴に注目しながら、情景を思い浮かべよう ・春 第1楽章	・曲想と音楽の構造との関わりについて理解するとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。
	6月 7月	○曲の構成を感じ取って、歌唱表現を工夫しよう ・主人は冷たい土の中に ○イメージと音楽との関わりを感じ取る ・イメージ音楽 ・指揮をしてみよう!	・曲の構成に意識を向け、音楽を構造的に捉えて表現の工夫ができるようにする。 ・基本的な拍子や、曲想を指揮で表現する。 ・音楽を形づくっている諸要素を知覚し、その特徴を感じ取って場面をイメージして鑑賞する。
2 学期		○音のつながりの特徴を生かして、創作表現を工夫しよう～My Melody～ ○情景を思い浮かべながら表情豊かに歌おう（心の歌） ・浜辺の歌（1学期） ・赤とんぼ（2学期）	・リズムを読む力、書く力を養う。 ・音のつながり方の特徴を理解し、それらを生かした創作表現をする。
	9	○人々の暮らしの中から生まれた音楽 ・日本の民謡	・生活や社会における音楽の意味や役割、音楽表現の共通性や固有性について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。 ・声の音色や響き及び言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりについて理解するとともに、それらを生かした歌唱表現を創意工夫する。
		○曲想やパートの役割を感じ取って、歌唱表現を工夫しよう ・校内音楽会学年・クラス合唱曲	・パート練習の方法などを学び、自分たちで協力してよりよい合唱をつくりあげる。 ・歌詞の内容や思いが聴き手に伝わる合唱を目指し、声部の役割や全体の響きとの関わりを意識して歌唱表現を工夫する。
	10月 11月 12月	○曲想と音楽の構造との関わりを理解して、その魅力を味わおう ・「魔王」	・詩と音楽の関わりによる豊かな演奏効果を感じ取りながら、イメージをふくらませて鑑賞する。
		○日本に古くから伝わる合奏に親しみ、その魅力を味わおう ・雅楽「平調 越天楽」 ○日本の民謡やアジアの諸民族の音楽の特徴を感じ取って、その魅力を味わおう ・アジアの諸民族の音楽	・音素材の特徴及び音の重なり方や反復、変化、対照などの構成上の特徴について理解するとともに、それらを生かした創作表現を創意工夫して音楽をつくる。 ・曲想と音楽の構造との関わり、音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりについて理解する。
		○心こめて合唱しよう ・卒業、進級に向けての合唱 ・国歌「君が代」	・音楽の特徴とその背景となる文化や歴史との関わり、我が国の伝統音楽及びアジア地域の諸民族の音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性について理解する。
3 学期	1月	○箏曲の特徴を感じ取って、その魅力を味わおう	・箏の音色や響きと奏法との関わりについて理解するとともに、それらを生かした器楽表現を創意工夫して演奏する。
	2月	・箏曲「六段の調」	・音のつながり方を工夫したり、箏の様々な奏法を活用したりしながら、イメージに合った「さくらさくら」の前奏を創作する。
	3月	・虫づくし、さくらさくら、前奏創作	
		○心こめて合唱しよう ・卒業、進級に向けての合唱 ・国歌「君が代」	・1年間の学びを生かし、卒業式と進級に向けて先輩への感謝や、新入生を歓迎する思いを伝える合唱表現を追求する。



# 令和8年度 保健体育科シラバス

## 1 授業の目標

～豊かなスポーツライフを実現するために～

- ① 運動の特性に応じた技能等及び個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身につけられるようにする。
- ② 自他の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を身につけられるようにする。
- ③ 健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かな生活を営むための態度を身につけられるようにする。

## 2 授業の約束事

～授業の約束を守りましょう～

- ① 授業の時間(開始・終了)を守る
- ② 服装を整える
- ③ 道具の忘れ物をしないように準備をする
- ④ 見学時の連絡は、保護者の方に事前に生徒手帳に記入してもらい、提出しましょう

## 3 評価の観点と方法

### ①知識・技能について

知識・技能とは…保健体育の授業を通して「何が身につけているのか」です。

- 各種目における特有の技能
- 技能などのポイントについての理解
- 各種目における技能の名称やルールなどについての理解
- 運動観察の方法(自己・他者)についての理解

### ②思考力・判断力・表現力等について

思考力・判断力・表現力等とは…保健体育の授業を通して「身についたことをどのように活用しているのか」です。

- 自他の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫する。
- 課題解決に有効な練習方法を選択し、自己の考えを伝えることができる。
- 自己や仲間の課題について、思考し判断したことを、言葉や文章などで表したり、相手にわかりやすく伝えたりすることができる。

### ③主体的に取り組む態度について

主体的に取り組むとは…保健体育の授業を通して「どのように取り組んでいるのか」です。

- 健康や安全に留意することができる。
- 自己の役割を果たすことができる。(準備や片付けなど)
- 公正に取り組むことができる。(ルールや仲間を称賛するなどのマナー等)
- 互いに協力することができる。(仲間の学習を援助する、組んだ仲間と積極的に取り組む)
- 自らの意思で目標を立て、試行錯誤しながら粘り強く学び、学習状況を調整することができる。

以上のことを、体育の授業でも説明します。

※観点別評価はABCでつけ、それを受けて5段階で評定として表します。

## 4 各学期の学習内容について

### 保健体育科ではこんな学習をします

狭山台中学校で学習する保健体育は、体育分野と保健分野の2つの分野に分かれています。

#### ○ 体育分野では

- (1) 体づくり運動 (2) 器械運動 (3) 陸上競技 (4) 水泳 (5) 球技 (6) 武道(柔道)  
 (7) ダンス (8) 体育に関する理論

について学習します。

#### ○ 保健分野では

- (1) 健康な生活と疾病の予防  
 (2) 心身の機能の発達と心の健康  
 (3) 傷害の防止  
 (4) 健康と環境

について学習します。

### 授業の学習内容

	1 年	2 年	3 年
1 学期	○オリエンテーション ・体づくり運動 ・新体カテスト ・陸上競技(短距離走) ・器械運動(マット運動) ・水泳 ・体育に関する知識	○オリエンテーション ・体づくり運動 ・新体カテスト ・陸上競技(短距離走) ・器械運動(マット運動) ・水泳 ・体育に関する知識	○オリエンテーション ・体づくり運動 ・新体カテスト ・陸上競技(短距離走) <b>選択1</b> 【マット・跳び箱・ハードル走から選択】 ・水泳 ・体育に関する知識
2 学期	○オリエンテーション ・体づくり運動 ・陸上競技(リレー) ・ダンス ・ソフトボール ・陸上競技(長距離走) ・保健	○オリエンテーション ・体づくり運動 ・陸上競技(リレー) ・ダンス ・ソフトボール ・陸上競技(長距離走) ・保健	○オリエンテーション ・体づくり運動 ・陸上競技(リレー) <b>選択2</b> 【バドミントン、ソフトボール、アルティメット】 <b>選択3</b> 【バレーボール・卓球 ハンドボール】 ・陸上競技(長距離走) ・保健
3 学期	○オリエンテーション ・武道(柔道) ・サッカー ・バスケットボール ・保健	○オリエンテーション ・武道(柔道) ・サッカー ・バスケットボール ・保健	○オリエンテーション <b>選択4</b> 【サッカー・バスケットボール・ソフトテニス】 <b>選択5</b> 【柔道・剣道・ダンス】 ・保健

<b>教科名</b>	<b>美術科</b>	<b>学年</b>	<b>第 1 学 年</b>
------------	------------	-----------	----------------

## 学習到達度目標

- |  |
|--|
| <p>1) 楽しく美術の活動に取り組み美術を愛好する心情を育てる。</p> <p>2) 対象を観察する力、感性や想像力を高め、豊かに発想し構想する能力や基礎的技能を身に付け、創意工夫して美しく表現する能力を育てる。</p> <p>3) 自然や美術作品についての基礎的な理解や見方を広げ、良さや美しさを感じとる鑑賞の能力を育てる。</p> |
|--|

	学習のねらい	単元名・教材等	主な学習内容
1 学 期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・形や図形を正確に写し取る 技術を身につける。</li> <li>・画面の中に構図を考えて、デッサンする。</li> <li>・自分のスケッチから、変化と統一のある楽しい形を作り出すことができる。</li> <li>・効果的な配色を使い、美しく彩色することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・【絵画】（鉛筆デッサン）</li> <li>・【デザイン】（自然物からの構成）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スケッチブックに鉛筆デッサンを行う。</li> <li>・果物や野菜をスケッチする。</li> <li>・直線や曲線、図形を用いて新しい形作りを行う。</li> <li>・画面構成をする。</li> <li>・配色計画を立てる。</li> <li>・ポスターカラーの使い方を 知り、美しく彩色する。</li> </ul>
2 学 期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・用と美の備わったデザインができる</li> <li>・工具を使って、切削、仕上げがていねいに行える。</li> <li>・名画の複製から芸術作品の良さを美しさに興味を持ち自分の価値意識を持つ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・【工芸】（ペーパーナイフの制作）</li> <li>・【鑑賞】（名画から好きな作品を見つけよう。）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・使うということを考えたデザインをする。</li> <li>・動物や植物から美しい形、面白い形をさがす。</li> <li>・電動のこぎりを使って切断する。</li> <li>・ヤスリを使って削りだしていく。</li> <li>・丁寧で美しい仕上げを目指す。</li> <li>・名画40点を鑑賞し、作品の良さを味わい、鑑賞カードに自分なりの感じ方を記入し、発表する。</li> </ul>
3 学 期	<ul style="list-style-type: none"> <li>上履きをかく（淡彩） 静物画</li> <li>マーブリング、スパッタリング、デカルコマニー、ドリッピング、などを体験する。</li> <li>・友だちの作品の良いところを見つけて、発表することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・【絵画】 鉛筆デッサンで上履きをあらわし、透明水彩絵の具で淡彩を施し、仕上げる。</li> <li>・【絵画、デザイン】 （シルエットを生かしたスパッタリング）</li> <li>・【絵画】【デザイン】 （モダンテクニックの実習）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>水彩用紙に鉛筆デッサンして、透明水彩絵の具の技法を使いさわやかに仕上げる。</li> <li>・型紙のシルエットの形とスパッタリングの技法が効果的に生かされたデザインを発想する。</li> <li>・黒い紙に適した色合いや色の変化の美しさを考える。</li> <li>・モダンテクニックを知り、その実際に体験する。</li> </ul>

### 評価について

#### 【授業中の活動】

- ・毎時間の目標と作業進度を理解し、集中して意欲的に取り組んでいるか評価する。
- ・集中度やすすみ具合（進度）を評価対象とする。
- ・授業で使う用具や必要な材料をきちんとよういしている。
- ・自分の席できちんと作業ができる。

#### 【学習の成果及び提出物】

- ・それぞれの題材のねらいを理解し、観察力、発想力、表現力等について評価する。
- ・絵画、デザイン、彫刻、工芸については表現するための技法項目が多くやや比重が重い。
- ・提出物では、完成作品の70%以上を評価する。アイデアスケッチ、プリント、クロッキーノートなどの提出物も評価対象とする。

#### 【各種テストによる評価】

- ・テストは実施しない。